



地 域 の こ と は 自 分 た ち で ！

南外さいかい市

地域の概況

- ✓ 活動エリアである外小友地区は、秋田県大仙市西部の旧南外村区域に位置。市町村合併前は過疎地域の指定を受けていた。



- ✓ 地区人口は2,786人で、世帯数は1,206世帯。
(令和7年7月末時点)
- ✓ **高齢化率**は、約**52**パーセント。

活動の背景

- ✓ 平成25年に地元で唯一のスーパーマーケットが廃業し、高齢住民の買い物問題が顕在化。
- ✓ 地元にあった2カ所の個人医院が近年相次いで閉院。令和5年には社会福祉法人がデイサービス事業から撤退するなど、高齢住民の医療と健康を取り巻く環境が大きく変化している。

活動のポイント①

- ✓ 市町村合併前から村おこしイベントの運営などで親交があった仲間が集まり、高齢住民が抱える買い物問題の解消を目指して、県と市の支援を受けながら、令和元年10月、公設民営のミニスーパーマーケットを開業。活動開始から今年で**7年目**。



活動のポイント②

- ✓ 令和2年に運営組織をNPO法人化。国の交付金を活用して移動販売事業や空き家改修で整備した菓子工房での特産品開発、SNS（フェイスブック及びインスタグラム）による情報発信をスタートさせた。
- ✓ 移動販売の特徴として、保健師資格をもったスタッフが車両に同乗し、高齢者の見守り活動を行っている。見守り活動では、健康相談のほか、生活の困りごと相談にも対応しており、行政や社会福祉協議会との橋渡し役を担う。

活動のポイント②



- ✓ 移動販売時のふれあいは、高齢者の孤独感解消の一役も担っている。

活動のポイント③

- ✓ 地元高齢者の介護予防と交流促進などを目的に、市や社会福祉協議会と連携して「南外さいかい市健康サロン」を毎月1回開催。
- ✓ 令和5年度からは民間の助成金を活用して高齢者の居場所づくりと孤食の改善を目指して、主に80代の高齢世帯及び独居老人を対象に新たなサロン事業「どやぐのたまり場」を実施している。 ※「どやぐ」とは秋田弁で友達や仲間のこと

活動のポイント③



- ✓ 参加者の年代別(70代・80代)に分けて、事業内容を考案し、高齢者向けサロンを実施している。

新たな取り組み

- ✓ 令和4年に地元の個人医院の閉院で無医地区となったことを受け、通院支援が必要な高齢者を対象に、市中心部の医療機関まで**無料送迎**するサービスを令和6年9月から実施。
- ✓ 毎週月曜日(週1回)、利用者が受診している間の待ち時間を利用して病院近くで**出張販売**を行ったところ好評で、売り上げも見込めたことから、通院支援に合わせて継続している。



課題

- ✓ いろいろな要望があるものの、**スタッフの高齢化と担い手不足**で応えられていない。
- ✓ 店舗や移動販売の利用客は、施設入所などで減少傾向にある。活動を維持継続していくためには、**資金確保**の対策が必要。